

## 付録 32

### 重要な年齢 — 40 歳

責任を負う年齢とは何歳だろうか？

もし 12 歳の子どもが、神について聞くことさえないまま亡くなった場合、その子は天国に行くのだろうか、それとも地獄に行くのだろうか。

では 15 歳なら？ 21 歳なら？ 25 歳なら？ 人間は何歳から、自分の信仰について責任を問われるのだろうか。この問いは、長い間あらゆる宗教の研究者たちを悩ませてきた。

コーランは、責任の年齢を 40 歳と定めている。だれでも 40 歳以前に亡くなった者は天国に行く。(46:15)。 その人が神を信じ、信仰によって魂を養い成長させていたなら (付録 15 参照)、高位の天国へ行く。そうでなければ、低い天国へ行く。

この情報に対して、多くの人はずまず反論を感じるであろう。

「もしその人が非常に悪く、邪悪で、無神論者だったとしても、40 歳前に死ねば天国へ行くのか？」

それは、人間が厳しく裁きたがる一方で、神は最も慈悲深い方だからです。私たちはつい「そういう人は皆地獄に行くべきだ」と考えてしまうのである。

この神の慈悲に強く反対する人々は、責任年齢の明確な境界を示すことができない。彼らは「もし非常に邪悪な人だったらどうなるのか」と問い続ける。その答えは次のように示されます。「神はその人が邪悪であることを知っているか？」——「はい」

「神はその人が天国に値しないことを知っているか？」——「はい」

「それなら、その人は 40 歳前には死なない。」それだけのことです。私たちの命を終わらせるのは神のみであり、誰が天国に値し、誰が地獄に値するかを完全に知っておられるからである。

1989 年初頭、セオドア・ロバート・バンディという男が、多数の女性を殺害した罪で処刑された。国民の多くは彼を歴史上もっとも凶悪な犯罪者の一人と考えた。その処刑は、死刑反対派ですら抗議しなかった稀な例であり、多くの人々がむしろ処刑を歓迎しました。多くのジャーナリストや論説家、政治家は、正義の執行に 11 年もかかったことを嘆き、判決から最大 6 年以内に処刑されるべきだったと主張した。

しかしコーランの観点では、それはバンディにとって最大の恩恵になっていたのである。彼は

処刑時 42 歳だった。もし 5 年前、37 歳で処刑されていたなら、まっすぐ天国に行っていたことになり、それは彼にふさわしくなかった、ということになる。

さらに、バンディの事例は「40 歳以前に亡くなる者は天国に行く」ということを確認する神からのしるしの一つだった。彼の名前（セオドア・ロバート・バンディ）Theodore Robert Bundy は 19 文字で構成されており、処刑前日に 19 人の女性を殺害したと告白した。このほかにも多くのしるしがあった。この重要な情報を伝えることは、神の「契約の使徒」として与えられた責任の一つであり、個人的な意見ではない。なお、マーティン・ルーサー・キングとマルコム X が、いずれも 40 歳の誕生日の数か月前に暗殺されたことも注目に値することです。